

委 託 業 務 処 理 要 領

この要領は、委託契約書第1条第1項の規定により、生化学・免疫統合分析装置の保守点検業務の処理に関し、必要な事項を定めるものとする。

第1 保守点検対象機器

生化学・免疫統合分析装置 (cobas6000 c501/e601)

第2 保守点検の方法

- (1) 定期点検の実施時期については、6月・12月の年2回とし、点検は所定の定期点検報告書に記載の項目について行うものとする。
- (2) 機器に異状があるときは、契約書第8条に規定する点検・修繕を行うこと。
- (3) 保守点検等は、委託者の勤務時間内に行うこと。ただし、故障、その他異状が発生したときは、委託者の勤務時間以外であっても、委託者の求めに応じ、点検等技術者を派遣し、速やかに修理、調整するものとする。

第3 業務処理上の留意事項

業務の処理に当たっては、係員と十分打ち合わせを行い、関係法令に定められた基準を遵守し、事故の防止に努めるものとする。

第4 契約の対象外

次の各号に該当するものは契約の対象外とし、発生の都度、委託者と受託者との協議の上、実施するものとする。

- (1) 火災、風水害、地震その他の天災地変、又は不可抗力に起因する損傷の修復
- (2) 取扱説明書に記載の注意事項、環境条件、取扱方法を逸脱した使用に起因する損傷の修復
- (3) 受託者又は受託者の指定する者以外の者に改造、又は修理を行ったことに起因する損傷の修復
- (4) 受託者の指定以外の保守部品、消耗品及び接続機器の使用に起因する損傷の修復
- (5) 受託者の指定以外の装置の追加、又は所定装置の除去に起因する損傷の修復
- (6) 本装置のオーバーホール、設置場所の変更による本装置の移動、据付、調整作業

第5 費用の負担区分

費用負担は、第1に記載された装置の部品及び消耗品の取替、補修に要する費用は、受託者の負担とし、その他については委託者の負担とする。

第6 その他

委託業務を処理するに当たって不明な点がある場合は、その都度、業務担当員の指示に従うこと。